

分苑たより なごみ

大本
名古屋分苑

分苑長

水無月 月次祭挨拶

サルートン
皆様こんにちは

六月九日に梅雨入り宣言があり、梅雨の真ただ中で足元が悪い中、水無月の月次祭にご参拝頂き誠にありがとうございます。うございませす。

六月七日、



月始祭が終わった夜に全国特任宣伝使のオンライン会議が愛善宣教課の主催で開催され、私も参加いたしました。

今年の宣伝使推薦者は、全世界で二百四十一名です。内訳は、宣伝使補は百三十六名、准は七十三名、正は三十二名です。今はまだ、審査過程ですので、判明するのは今月末だと思います。

六月八日に、松の植林地へ行ってきました。新芽が長く

育ち過ぎていて来年は枝がこ

れより長くなるので、一定の

高さで切っています。その

新枝は大神様の立松と祓戸様

の松に使わせて頂いています。

訃報をお伝えいたします。

六月九日に、宣伝使廣瀬

麻子様（教主さまのお母さま）

が九十三歳でご昇天され、六

月十二日に、みろく会館で発

葬告別式がとりおこなわれま

した。

謹んで哀悼の意を表します

とともに天界での「み幸はい」

をお祈り申し上げます。

二十二日には、教本二級認

定講習会を開催いたしますが、

初めての方が二名と再受講者

の方が三名と少し寂しい感じ

も致します。

講習は一日だけです。希

望される方はまだ受付させて

いただきますので申し出て頂

きたいと思えます。

七月の月次祭には、前田特

派が分苑にお見えになります。月次祭講話で、大本事件についてお話をされます。

今世間では、お米の事で話

題になっていますが、日比達

朗様から玄米三十キロを無償

で頂きました。必要な分だけ、

精米機にかけて神饌米として

お供えさせて頂きます。

また、渡辺克子様からお漬物

を頂き大変重宝して頂いてお

ります。ありがとうございます

した。

今、イスラエルとイランの

軍事衝突を非難する声明文が

大本・人類愛善会より発信さ

れました。声明文は掲示板に

貼っています。

本日の参拝、誠にありがとう

ございました。

コーランダンコン

行事報告

●月始祭 六月七日（土）

- 参拝者 十九名
- 斎主 見田 すみ子
- 祭員 島山 亜美
- 祭員 堀 禮子
- 進行 飯田 直美

●月次祭 六月十五日（日）

- 参拝者 三十七名
- 斎主 瓜生 秀明
- 祭員 仙頭 志音
- 祭員 妹尾 正治
- 裏方 永島 昶
- 典礼長 日比 達朗
- 伶人 小林 清人
- 伶人 飯田 直美
- 伶人 澤田 淳
- 伶人 長谷川 美枝
- 伶人 伊藤 恵美子
- 進行 伊藤 久仁男



●海津市松植樹地 献劳作業
六月八日(日)に七名で行
いました。

参加者
小鹿正光さん、畠山茂さん
小林清人さん、鈴木克彦さん
高嶋フミ子、中村さん(前日)
高嶋善雄 報告



草刈り後 新芽の間引き



草刈り前 高く伸びた雑草

●教本二級 認定講習会
六月二十二日、名古屋分苑
で開催いたしました。

二級受講者は高野梨枝子さ
ん・國方千愛さん、初心者で
飯田直美さんが受講され、オ
ブザバーで森悦子さん・坂本
勝代さん・高嶋フミ子さんが
受講されました

講師は堀宜雄特任、助教で
妹尾正治特任・山田謙三特任
で行いました。

高嶋善雄 報告



●東海教区特任研修会
名古屋分苑を会場に六月二十
八・二十九日に行われました。

参加者 前田特派・牧三河本
苑長・日野三重主会長・池田
長野主会長・宮嶋正幸・溝口
玄・三矢直・芝田豊海・服部
康彦・菊池祐己・妹尾正治・
堀宜雄・山田謙三
オブザバー

高嶋善雄 報告



行事予定

七月二十日(日)

月次祭 午前十時半より

八月二日(土)

月始祭 午後一時半より

八月六日(水)

瑞生大祭 遥拝祭

午前十一時より

じいじの道草雑話

【雑草】

特任宣伝使 妹尾 正治

今日は朝早くから草むしり
だ、この時期(六・七月)は
一週間も手を休めると庭がジ
ヤングル状態になってしまう。
先週綺麗にした所が既に一面
に雑草が芽吹いている、人間
と草とのまさに根気比べだ。

雑草で思い出したことが有る、
昭和天皇の逸話だ。
陛下が侍従と庭に出ていた時
に侍従が道端の草を「雑草」
と言った事を叱責されたそう
だ。

『どんな草にも名前がある、
雑草とは失礼だ』お人柄が伝
わるこの言葉はじいじの心に
今も残っている。

じいじは四十三才の時現在の
地に家を建て、プチシヨップ
香萌美留(カモミール)と云
う名前で手芸店を開店した。
この土地は調整区域で商業施
設でないで建てられなかった
事も有ったが何となく商売も
やってみたかった。

店名のカモミールはヨーロッパ原産の雑草(失礼)ハーブである、体を温める効果があり風を引いた時はハーブティーにして薬の代用になっていると聞く。青りんごのような甘い香りはポプリ湯としても重宝されている。

マーガレットを小ぶりにした花は可愛いが、繁殖力が強く、抜いても抜いてもどこかで毎年花を咲かせている、そんな生命力の強さと人に役立つ効能に惹かれて店名を「香萌美留」にした。

草むしりでふと思った、今抜いている草も雑草ではなく何かの役に立つ為に生えているのかもしれない。

キリスト教の牧師が自殺願望の人にこう諭したそうだ『この世に必要な人間を作るほど神はバカではない、あなたを必要とする人が必ずいる!』と。

